

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
①	一般国道58号 <small>オンナミナミ</small> 恩納南バイパス <small>オンナソン</small> (恩納村)	平成2年度 360億円	<small>オンナソン アザミナミオンナ</small> <small>オンナソン アザナガマリ</small> 事業区間: 沖縄県恩納村字南恩納～恩納村字仲泊 延長: 6.5km 用地進捗率: 約98% 事業進捗率: 約78%	事業継続	<p>恩納南バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、沖縄本島有数のリゾート施設群及び沖縄科学技術大学院大学から那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「観光客の受入体制の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P60 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)世界水準の観光リゾート地の形成 ウ 観光客の受入体制の整備 世界水準の観光地としてふさわしい舞台づくりを推進するため、交通基盤の整備による観光客の移動の円滑化、観光まちづくりの推進、観光関連施設の集積や公共施設の一体的・重点的な整備、ユニバーサルデザインの推進、県民のホスピタリティ向上に努めます。</p> <p>観光地巡りに不可欠な陸上交通基盤については、広域交流拠点である那覇空港及び那覇港と各圏域拠点都市の結節性を向上させるため、那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路、南部東道路等の整備により体系的な幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図るとともに、臨港道路、沖縄都市モノレール延長等の整備を推進します。また、観光周遊自転車ネットワークの整備や街歩き観光が楽しめる歩道の整備を行います。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体4.5・残事業7.8</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
②	一般国道329号 与那原バイパス <small>ヨナバル ヨナバルチョウ ハエバルチョウ ニシハラチョウ</small> (与那原町、南風原町、西原町)	平成4年度 470億円	<small>ニシハラチョウ アザ オナハ ハエバルチョウ アザ ヨナハ</small> 事業区間: 沖縄県西原町字小那覇 ~南風原町字与那覇 延長: 4.2km 用地進捗率: 約96% 事業進捗率: 約54%	事業継続	<p>与那原バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、那覇港、那覇空港、および大型MICE施設(平成27年5月建設場所決定)等へのアクセス性向上、与那原町周辺の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体2.9・残事業6.4</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
③	一般国道329号 <small>ハエバル</small> 南風原バイパス <small>ハエバルチョウ ナハシ</small> (南風原町、那覇市)	平成7年度 450億円	<small>ハエバルチョウ アザ ヨナハ ナハシ ウエマ</small> 事業区間: 沖縄県南風原町字与那覇～那覇市上間 延長: 2.8km 用地進捗率: 約96% 事業進捗率: 約34%	事業継続	<p>南風原バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、那覇港、那覇空港、および大型MICE施設(平成27年5月建設場所決定)等へのアクセス性向上、南風原町周辺の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.3・残事業1.9</p>

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
④	一般国道506号 <small>オロク</small> 小禄道路 <small>ナハシ トミグスクシ</small> (那覇市、豊見城市)	平成23年 620億円	事業区間: <small>ナハシ カガミズ トミグスクシ ナカチ</small> 沖縄県那覇市鏡水～豊見城市名嘉地 延長: 5.7km 用地進捗率: 約2% 事業進捗率: 約5%	事業継続	<p>小禄道路は、那覇空港自動車道の一部を構成し、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、<u>那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。</u>また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.9・残事業2.2</p>

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑤	ウラソエキタ 一般国道58号 浦添北道路 ウラソエシ キノワンシ (浦添市、宜野湾市)	平成18年度 400億円	事業区間: 沖繩県宜野湾市宇地泊～浦添市港川 延長: 2.0 km 用地進捗率: 約94% ジギョウシンチョクツ 事業進捗率: 約63%	事業継続	<p>浦添北道路は、沖縄西海岸道路の一部を構成し、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.9・残事業7.3</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)
(道路) 6件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑥	一般国道329号 <small>キン</small> 金武バイパス <small>キンチョウ</small> (金武町)	平成3年度 194億円	事業区間: <small>キンチョウ アザ キンナカガワ</small> 沖縄県金武町字金武中川 <small>キンチョウ アザ トクスバル</small> ~金武町字渡慶頭原 延長:5.6km 用地進捗率:約96% 事業進捗率:約73%	事業継続	<p>金武バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、本島北部地域から那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、金武町内の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、<u>本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります</u>。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.1・残事業1.9</p>

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

(港湾) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価															
⑦	ナハ トマリ トウテク リョキヤケン セイ 那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整 ビ ジョウ 備事業 ナハ シ (那覇市)	平成18年度 195億円	<ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 那覇港泊ふ頭地区 ・事業概要 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>岸壁(水深9m)</td> <td>延長</td> <td>340m</td> </tr> <tr> <td>泊地(水深9m)</td> <td>土量</td> <td>約51万m³</td> </tr> <tr> <td>港湾施設用地</td> <td>面積</td> <td>6.3千m²</td> </tr> <tr> <td>臨港道路</td> <td>延長</td> <td>557m</td> </tr> <tr> <td>防波堤(新港第一)撤去</td> <td>延長</td> <td>80m</td> </tr> </table> ・事業の進捗状況 平成27年度末進捗率：約82% 	岸壁(水深9m)	延長	340m	泊地(水深9m)	土量	約51万m ³	港湾施設用地	面積	6.3千m ²	臨港道路	延長	557m	防波堤(新港第一)撤去	延長	80m	今後は、平成29年度の完成を指し、岸壁、泊地、防波堤撤去の進捗を図る。	<p>本事業は、国際観光の発展を支援するため、また、貨物と旅客の混在における安全性の問題解消の観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」「観光客の受入体制の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「このため、那覇港については、(略)さらに、<u>大型クルーズ船に対応する国際旅客ターミナルを整備し、クルーズ船の誘致活動を推進するとともに、(略)。</u>」 (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「(略) <u>海の玄関口である港湾については、大型クルーズ船に対応した岸壁やターミナルビル等の整備。国際的な観光リゾート地にふさわしいユニバーサルデザインの理念に基づく港湾施設やマリーナ・フィッシャリーナ等の整備を推進するとともに、(略)。</u>」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体3.6・残事業2.8(平成24年評価時点)</p>
岸壁(水深9m)	延長	340m																		
泊地(水深9m)	土量	約51万m ³																		
港湾施設用地	面積	6.3千m ²																		
臨港道路	延長	557m																		
防波堤(新港第一)撤去	延長	80m																		

再評価を実施した事業

別紙1

1. 補助事業(沖縄県)
(道路) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑧	ハエバルチネンセン ナンブヒガン 主要地方道南風原知念線 南部東道路 ナンジョウシ ハエバルチョウ (南城市、南風原町)	平成18年度 182億円	事業区間: 沖縄県南風原町字山川 <small>ハエバルチョウ アザヤマカワ</small> <small>ナンジョウシタマクスアザカキノハナ</small> ～南城市玉城字垣花 延長: 8.3km 用地進捗率: 約14% 事業進捗率: 約16%	事業継続	<p>南部東道路は、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、南部圏域の観光の振興に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「観光客の受入体制の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P60 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)世界水準の観光リゾート地の形成 ウ 観光客の受入体制の整備 世界水準の観光地としてふさわしい舞台づくりを推進するため、交通基盤の整備による観光客の移動の円滑化、観光まちづくりの推進、観光関連施設の集積や公共施設の一体的・重点的な整備、ユニバーサルデザインの推進、県民のホスピタリティ向上に努めます。</p> <p>観光地巡りに不可欠な陸上交通基盤については、広域交流拠点である那覇空港及び那覇港と各圏域拠点都市の結節性を向上させるため、那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路、南部東道路等の整備により体系的な幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図るとともに、臨港道路、沖縄都市モノレール延長等の整備を推進します。また、観光周遊自転車ネットワークの整備や街歩き観光が楽しめる歩道の整備を行います。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄県が行った費用対効果分析結果は、事業全体5.61</p>

再評価を実施した事業

2. 補助事業（沖縄県）

（港湾） 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価												
⑨	<small>モトブ コウモトブ テク コウファンカイシュウキョウ</small> 本部港本部地区港湾改修事業 <small>モトブ チョウ</small> （本部町）	平成8年度 7.3億円	<ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 本部港本部地区 ・事業概要 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>岸壁(水深9m)</td> <td>延長</td> <td>220m</td> </tr> <tr> <td>岸壁(水深7.5m)改良</td> <td>延長</td> <td>240m</td> </tr> <tr> <td>泊地(水深9m)</td> <td>面積</td> <td>9千m²</td> </tr> <tr> <td>港湾機能用地I等</td> <td>面積</td> <td>13千m²</td> </tr> </table> ・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率：約96% 	岸壁(水深9m)	延長	220m	岸壁(水深7.5m)改良	延長	240m	泊地(水深9m)	面積	9千m ²	港湾機能用地I等	面積	13千m ²	今後は、平成28年度の完成を目指し、岸壁の進捗を図る。	<p>本事業は、北部地域の産業振興を図るための物流機能の強化のための拠点の整備、また、国内外のクルーズ船の寄港による交流機会の促進の観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56イ 人流・物流を支える港湾の整備 「平良港、石垣港、本部港については、それぞれの圏域の拠点としての機能を高め、大型クルーズ船に対応する旅客船バース等の整備を進めるとともに、（略）。」</p> <p>（参考）国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄県が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.3</p>
岸壁(水深9m)	延長	220m															
岸壁(水深7.5m)改良	延長	240m															
泊地(水深9m)	面積	9千m ²															
港湾機能用地I等	面積	13千m ²															

2. 補助事業（沖縄県）

(水道) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑩	那覇市水道施設更新（耐震化）事業 （那覇市）	平成24年 75億円	<p>【主な整備事業内容】</p> <p>送水施設 送水管：L=3,506m 配水施設 電気・機械設備（配水池）：1か所 電気・機械設備（ポンプ場）：1か所 配水池：4か所 配水管：L=39,866m 上水道監視システム：1か所 擁壁設置（配水池）：1か所</p> <p>【工期】 平成24年度～平成33年度</p> <p>【進捗率】 19.3% 今後、配水池建設や老朽管路の更新といった大規模工事が予定されているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	配水管や配水池等の整備を促進し、平成33年度事業完了を図る。	<p>那覇市水道施設更新（耐震化）事業は、水道水の安定的かつ効率的に供給するため、老朽施設の更新及び施設の耐震化を図るものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>
⑪	うるま市水道創設事業 （うるま市）	平成17年 90億円	<p>【主な整備事業内容】</p> <p>配水施設 機械電気計装 (中央監視制御)：1か所 (配水池)：1か所 (注入点)：1か所 配水管：L=253,536m</p> <p>【工期】 平成17年度～平成36年度</p> <p>【進捗率】 29.3% 今後、海底送水管敷設といった大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	配水管や電気設備等の整備を促進し、平成36年度事業完了を図る。	<p>うるま市水道創設事業は、豊富低廉な水道水の供給に努めるため、老朽施設の更新や新設管路の整備、また、施設の耐震化を図るものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>

<p>⑫</p>	<p>ナカグスクン 中城村水道整備事業 (中城村)</p>	<p>平成13年 25億円</p>	<p>【主な整備事業内容】 送水施設 ポンプ場：1か所 送水管：L=1,320m 配水施設 ポンプ場：1か所 配水池：1か所 配水管：L=60,795m 遠方監視システム：1か所</p> <p>【工期】 平成13年度～平成37年度</p> <p>【進捗率】 59.8% 計画通り進捗している。</p>	<p>配水管や配水池等の整備を促進し、平成37年度事業完了を図る。</p>	<p>中城村水道整備事業は、水道水の安定的な供給を図るため、給水人口及び給水量の増加に伴う施設の拡張整備を行うものである。 また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている 沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p> <p>(参考) 厚生労働省所管公共事業の再評価実施要領に基づき中城村が行った費用対効果分析結果は、事業全体5.92・残事業2.29</p>
<p>⑬</p>	<p>ヨミタンソン 読谷村水道施設整備事業（第6次 拡張事業） (読谷村)</p>	<p>平成24年 33億円</p>	<p>【主な整備事業内容】 配水施設 配水管：L=54,392m</p> <p>【工期】 平成24年度～平成35年度</p> <p>【進捗率】 5.8% 今後、新設管路の敷設といった大規模工事が予定されているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	<p>配水管の整備を促進し、平成35年度事業完了を図る。</p>	<p>読谷村水道施設整備事業（第6次拡張事業）は、水道水の安定的な供給を図るため、給水人口及び給水量の増加に伴う施設の拡張や老朽施設の更新及び施設の耐震化を行うものである。 また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている 沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。 よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p> <p>(参考) 厚生労働省所管公共事業の再評価実施要領に基づき読谷村が行った費用対効果分析結果は、事業全体2.21・残事業2.37</p>